

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



委員会討論:市長給与等の引き上げに反対

自分の報酬は上げずに、市長の給与はアップ

市長から、職員と市長の給与引き上げ(期末手当)の条例案が提案され、吉田つとむが所属する総務常任委員会で審議しました。

一般職員やその他の職員の給与の引き上げについては、この間、民間給与の引き上げが続く、特に新規職員募集における困難さの解消のためにも必要なことだと考え、賛成討論を行いました。一方で、市長は特別職であり、市民の選挙で選ばれる立場です。そのため、本来、議員と等しく、第3者の審議会に諮り、その額や率を設定するべきものだと理解するものです。多くの他市では、市長給与と議員の報酬をリンクさせているものですが、町田市は議員報酬に関してのみ、市長が指名する審議会を設けて、必要な時に審議に諮問することになっていますが、一方的に、市長は自身の給与を職員の給与のアップに比例させる方法を取ってきました。

なお、町田市議会議員の報酬は20年以上全く上がっておらず、一般職員と市長は違うとして、市長の給与引き上げ(期末手当)案に反対討論を行いました。結果は、大多数の議員が何の意見も示さず、市長給与アップの議案に賛成し可決されました。なぜこのような議案に毎回賛成する議員が大多数なのか本当に不思議でなりません。



住民請願:学校統廃合の見直しを求める

文教社会常任委員会で不採択となりました

町田市は学校統廃合を大規模に行う施策を強硬に推し進めています。



その第一弾が南成瀬小学校と南第二小学校の統廃合ですが、スクールバスの利用を求めた請願が採択にされているにも関わらず、住民多数意見を無視した計画を進めています。また、発注では事業全体を長期間民間に依頼するPFI事業として設定しますが、その額は213億9811万円(請願文)もの整備費が見込まれ、町田市の第2期の統廃合計画ではPFI事業方式自体が見込めない状況になっています。*吉田は請願の紹介議員になりました。

さらに、町田市は学校の適正規模を3-4クラスとする計画ですが、その基準で規模設定しているのは都内で3自治体(小平市・清瀬市・町田市)のみであり、大勢(3クラス以下)とは異なります。文部省が求める基準とは大きく異なり、町田市は国基準の例外規定を一般化した基準を適正としているものです。そのことは、運動場も、一周150m、直走路50mを満たせば良いとして、運動会の全校準備運動、表現や組体操の学年発表を対応したスペースを確保することに至らない広さを想定していることは明らかです。

第4定例会の学校統廃合見直しの住民請願に共鳴し、吉田つとむは、成瀬地区の2本の請願の紹介議員になりました。文教社会常任委員会で請願は賛成少数で不採択になりました。行政が決めた既定路線通りに進めると言う審査経過でした。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第
55期生を募集予定

最近の小学校学習発表会の報告

「庭には二羽の鶏がいます」早口言葉に出てくるものですが、同じ音でも意味が違い、漢字で書くと全く別のものになります。3年生の教室でしたが、そのクラスでは国語の時間で漢字の勉強をしていました。いろんな子がいるので、先生は大変でしょうが、教師としてやりがいもあると言うものでしょう。

2年生はお店探検の報告をしていました。10人が大グループですが、3-4人で小グループを作り、他の子に報告していました。質問コーナーがある場合もありました。クイズがありました。八百屋さんの宮崎商店では、値段は何で決めているでしょう。①市場で買った値段、②自分で決めた値段、③人が決めた値段、さー、どれか。そうか、2年生のクラスではそんな方法で勉強をするのかと感心しました。井上米店に行った子たちもいました。この店はお米や燃料の販売を行っています、ご主人が行う配達も人気があります。私も久しぶりに宮崎商店と井上商店に寄ってみました。



6年生のクラスでは、理科の実験が行われました。ここでは、専科の先生が担当され、水溶液の作り方を勉強していました。その先生は白衣を羽織り、児童や見学の親たちにウケていました。学習の説明には電子黒板を使い、わかりやすい説明でした。アンモニア水の説明では、匂いを嗅ぐのに直接鼻を近づけないようにということを先生が具体的に説明されていました。

特別支援学級の低学年生の教室では、音楽の勉強をしていました。聞き覚えがなさそうな曲で、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌っていました。次には、楽器を使って歌に合わせる勉強でしたが、タンバリンは鳴らすと、しゃらんらんと音をするそうです。知りませんでした。他に、太鼓、鈴など打楽器系を使っていました。でも、楽器が入った歌を聴いていると、この歌は聞いたことがあることを思い出しました。

政務活動費(監査請求と必要額の返還)

以前(2014-2017年分)に、大多数の会派の政務活動費(月額6万円)が支出に違法なものがあり、その相当分の返還を求めた裁判があり、本年冒頭に判決が出ました。自動車の燃料費、あるいは通信費、あるいは事務費などが半額支給、半額は個人負担分と決定しました。その他の物では選挙直前の広報費などが不当で返還とされるもの以外は、概ね、公費の支出が認められました。判決では、返還算定額より会派議員の余剰負担金を差し引き、返還をすべしと判決が出て、必要な返還をしました。裁判の判決には双方とも異議がなく、2024年に最終確定しました。*この間のレポートやSNS記事で既報。

今回は、その裁判結果に基づき、2018年度以降の分の違法だとする額の返還を求める監査請求が行われました。私が所属した「保守の会」会派では、概ね、その請求を受け入れ、鑑査請求の要求額より会派議員の余剰負担金を差し引き、返還額を算定し、直ちに返還することを決め、監査委員に回答しました。

なお、2020年度分より、町田市議会の政務活動費の用途基準を変更し、裁判結果以上に公費支出割合を狭め、かつ、従来から、個別費目の上限額を決めており、無所属会派への監査請求対象の品目はありませんでした。

本会議質疑:道路補修の補正予算について

第四回定例会の補正予算に道路維持費680万円が組まれましたが、この件数、被害の種類、額が大きい順を尋ねました。答弁では、台風10号による被害でのり面の崩落、路面の隆起、冠水という答弁でした。再質問では、冠水は自然排水か、ポンプアップで済むと考えられるが、何故、補修工事費を必要としたのかと問いました。答弁では、床上、床下浸水が発生した(する可能性がある)場所において、排水桝や排水管を新たな設置するための工事費としていると言うもので、台風10号の被害のみでこれほどの被害対策復旧工事費を必要とするものであったことが改めて分かりました。*過去に浸水があった地域



◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年9月末までに110名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次回のインターンシップは、2025年春季募集で2024年11月より広報開始しています。